



ここまでできた学認 —現状と今後—

学認シンポジウム2012 午前の部 (2012/3/5)

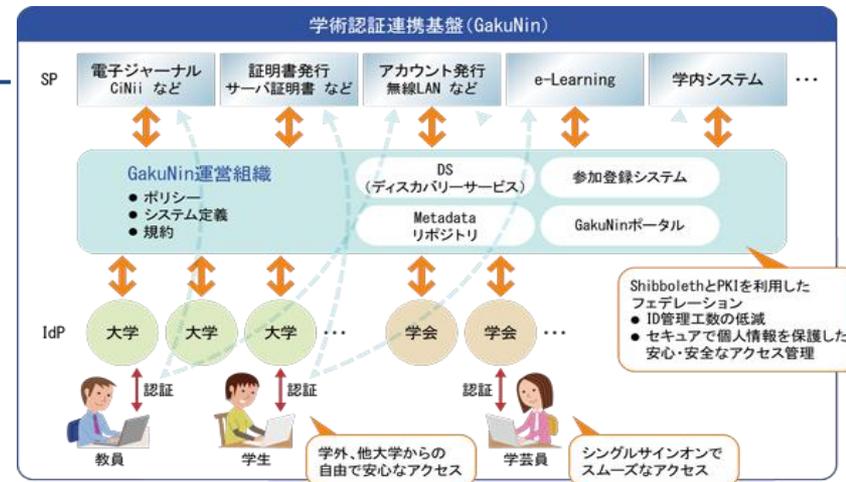
学認とは

- ▶ シングルサインオン(SSO)技術を用いて**学術機関が連携**
 - ▶ **教育・研究のためのより良い(安心、安全、便利な)ICT基盤の構築を目指す**
- ▶ **学術機関が**、その構成員であることと、属性情報について**保証**
 - ▶ **サイトライセンスや学割との親和性が高い**

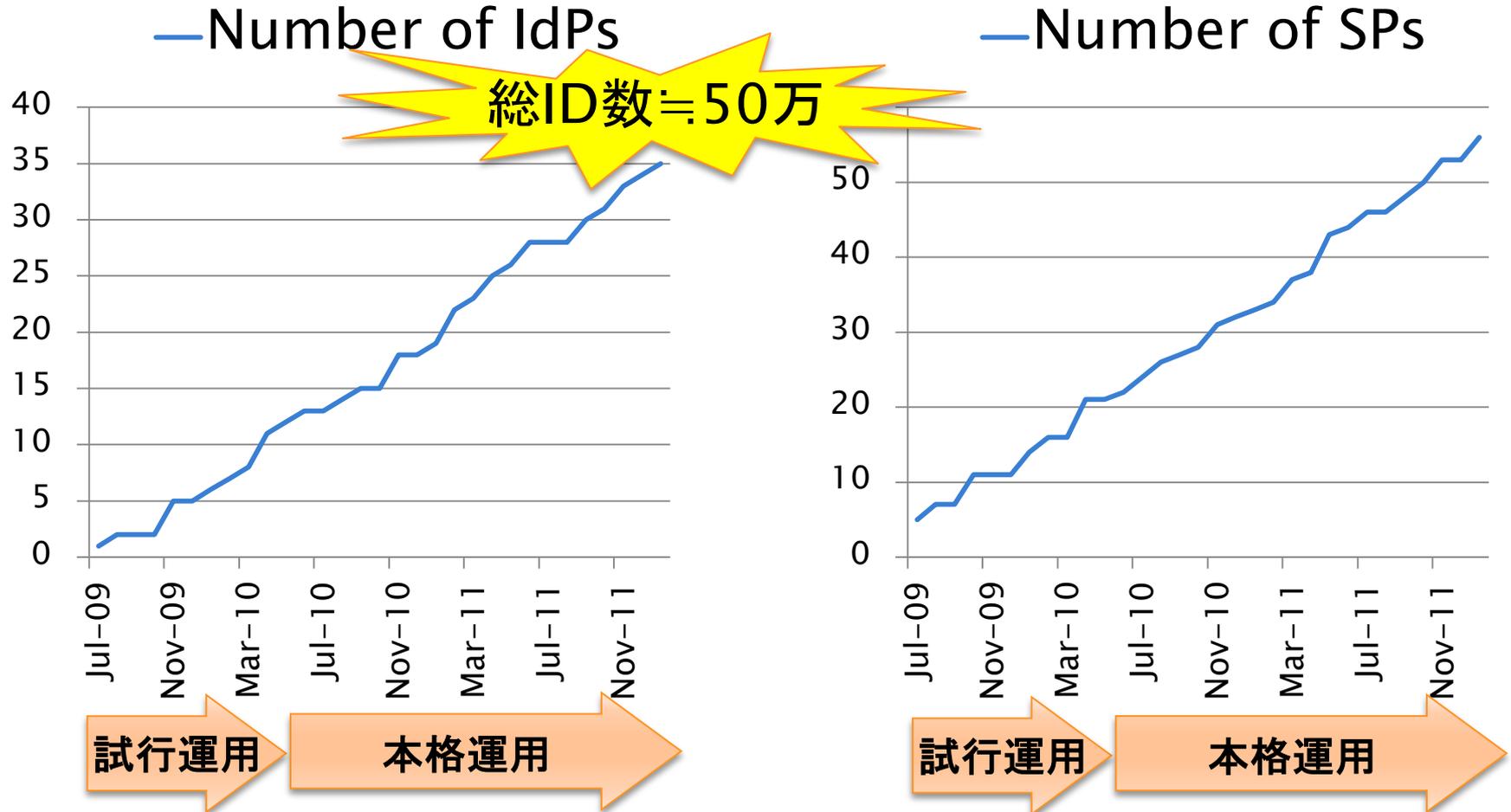
- ▶ 認証のための国際標準SAMLに準拠
 - ▶ Shibboleth by Internet2
 - ▶ simpleSAMLphp by UNINETT

「学認」の役割

- ▶ IdP / SP の運用基準(セキュリティレベル)統一
- ▶ やりとりする属性情報の統一(現在18種類)
- ▶ IdP / SP の勧誘、接続支援
- ▶ 参加申請の受付
- ▶ メタデータ(IdP / SP リスト)の管理、配布
- ▶ DS (Discovery Service)の運用
- ▶ 海外フェデレーション等との連携 など



学認参加機関の増加





学認参加のSP一覧

▶ 学術コンテンツ

- ▶ Science Direct / SCOPUS (Elsevier)
- ▶ SpringerLink (Springer)
- ▶ Web of Knowledge / EndNote (Thomson Reuters)
- ▶ OvidSP (Ovid)
- ▶ RefWorks / ebrary (ProQuest)
- ▶ Cambridge Journals Online (CUP)
- ▶ Pathology Images (Atlases)
- ▶ CiNii (NII)

▶ 開発環境

- ▶ DreamSpark (Microsoft)

▶ ネットワークサービス

- ▶ Fshare (大容量ファイル交換) (NII), ファイル送信サービス (金沢大学)
- ▶ FaMCUs (テレビ会議多地点接続) サービス (NII)
- ▶ Eduroam-Shib (eduroam用一時アカウント発行) サービス (京大&NII)
- ▶ ゲスト用ネットワークアクセス認証 (佐賀大学、広島大学)
- ▶ 科学技術の学術情報共有のための双方向コミュニケーションサービス (山形大学)
- ▶ WebELS eLearningシステム (NII)
- ▶ しぼすけ (アットウェア)、Foodle (UNINETT) —スケジュール調整

- ▶ EBSCO host (EBSCO)
- ▶ KOD (研究社)
- ▶ IEEE Xplore
- ▶ 360 Core / Search / Link / Electronic Journal Portal (Solaris Solutions)
- ▶ IOP science (IOP)
- ▶ BioOne
- ▶ Royal Society of Chemistry (RSC)
- ▶ IMCデータリポジトリ (金沢大学)

準備・調整中

- ▶ ACS
- ▶ AMA
- ▶ BMJ
- ▶ Emerald
- ▶ Cengage
- ▶ Karger
- ▶ Ingenta
- ▶ IEEE CSDL
- ▶ jSTOR
- ▶ Nature
- ▶ PierOnline
- ▶ PubMed (NIH)
- ▶ SAGE
- ▶ Tavlora&Francis
- ▶ Thieme
- ▶ Wiley

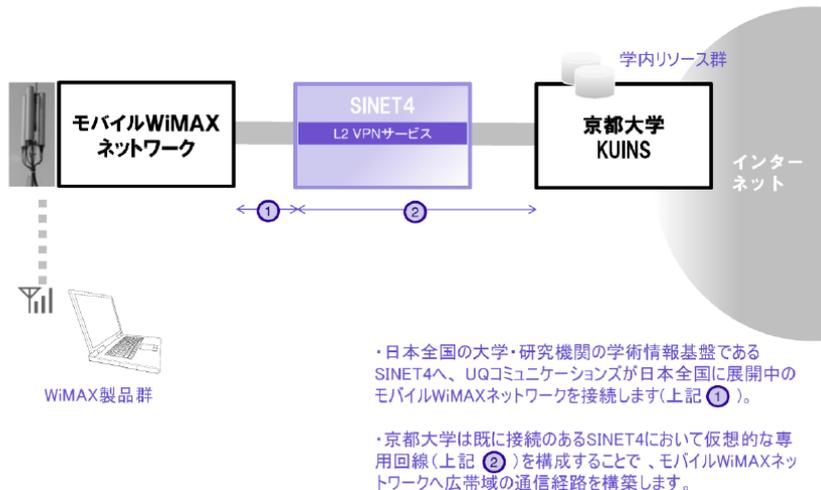
[新SP] WiMAXのキャンパスネットワーク接続 での利用資格確認(UQコミュニケーションズ)

- ▶ WiMAXとSINETを利用したキャンパスネットワークへのアクセス提供サービス
- ▶ 契約時に「学認」による認証で資格確認を行う

【別紙2】

加入手続き概要(認証イメージ)

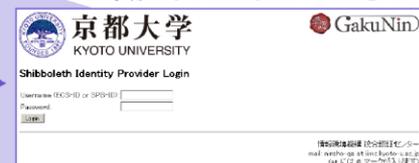
ネットワーク構成(概要イメージ)



1. UQの専用サイトにアクセス



2. 京都大学サイトで学内アカウントを入力



学術認証
フェデレーション

認証が成功した場合

3. 加入手続きを実施



・京都大学が参加している学術認証フェデレーションへUQコミュニケーションズが参加することにより、相互の認証連携を可能とします。

・契約者は京都大学の運営するサイトに学内アカウントのID、パスワードを入力することで学内へのアクセス権を証明可能となり、便利で安全な手続きが保たれます。

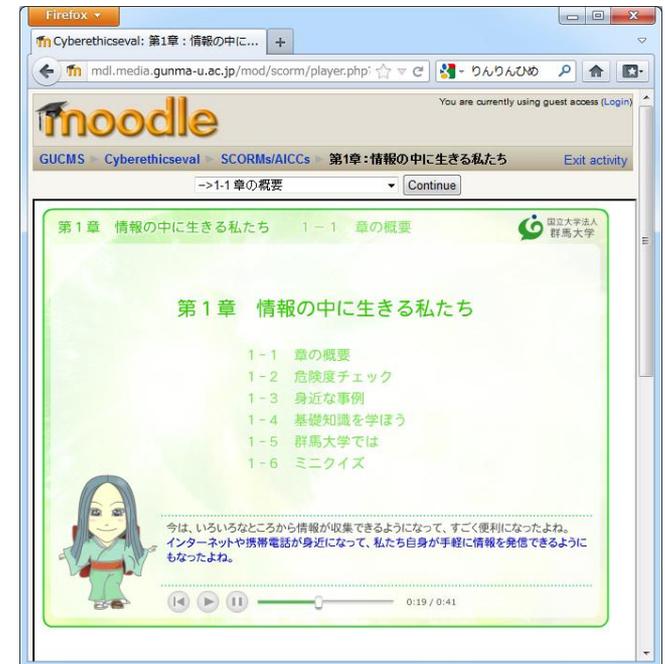
※画面イメージは制作中のものです。

(参考) http://www.uqwimax.jp/annai/news_release/201201303.html

(引用) http://www.uqwimax.jp/annai/news_release/docs/appendix_20120130_3.pdf

[新SP]情報セキュリティ等e講習システム

- ▶ **大学等における情報セキュリティ講習**
 - ▶ 情報セキュリティ関連規定の整備に伴う要件
 - ▶ 組織全体としての水準の維持・向上が求められる
 - ▶ オンライン化が望まれるが、大学が個別にシステムおよびコンテンツを整備するのは現実的でない
- ▶ **学認と連動したサービスとして構築**
 - ▶ 受講履歴を大学にフィードバック
 - ▶ 匿名ID (ePTID) による管理
 - ▶ 初期コンテンツとして、群馬大で開発された「倫倫姫」を採用
 - ▶ 4カ国語(日、英、中、韓)対応
 - ▶ 大学オリジナルコンテンツ追加可能
- ▶ **2012年度より試行提供開始予定**
 - ▶ 将来的にはNIIの研修事業へ(?)



(図は群馬大にて提供中のもの)



学内システムもShibboleth対応でSSO

- ▶ Shibboleth対応の学内向けシステムの情報も提供中

<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=8717006>

- ▶ 統合認証システム
- ▶ メールサービス
- ▶ 給与システム
- ▶ Eラーニングシステム
- ▶ 履修登録システム
- ▶ 教務事務システム
- ▶ 図書館情報システム
- ▶ グループウェア
- ▶ SNS
- ▶ 学内ネットワーク認証
- ▶ 施設管理システム

学認で主に利用されているミドルウェア

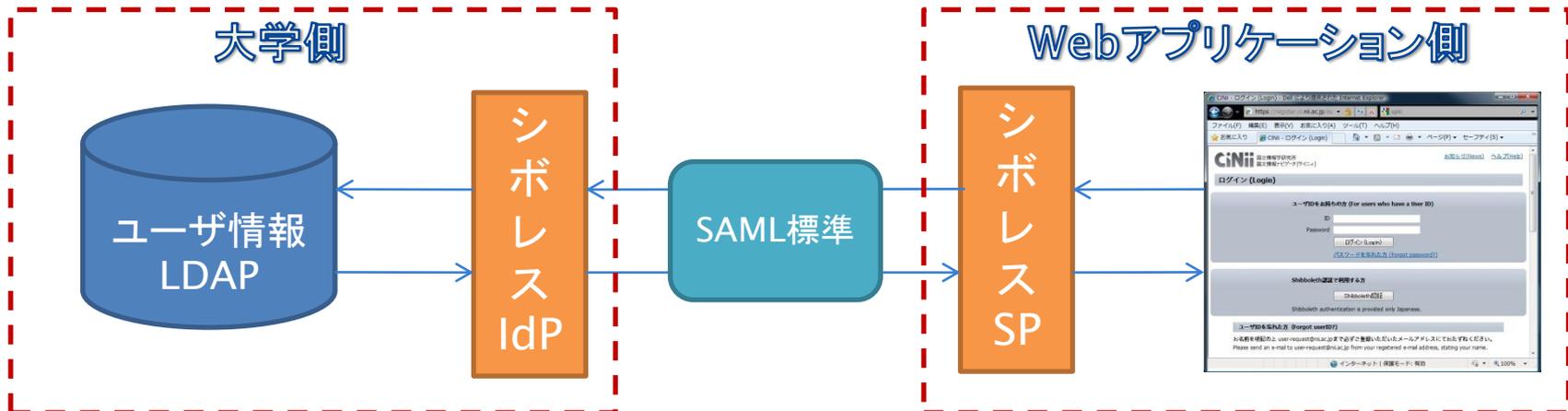
SAML(サムル:Security Assertion Markup Language)

- ▶ セキュリティや個人情報保護法に配慮して, 認証・認可の情報交換を行うためのデータ形式
- ▶ 標準団体OASISにより策定

Shibboleth(シボレス)

ShibbolethはSAMLを実現するミドルウェア

- ▶ 米国EDUCAUSE/Internet2にて2000年に発足したオープンソースプロジェクト
 - ▶ <http://shibboleth.internet2.edu/>
- ▶ SAMLによる認証連携方法として学术界ではデファクトスタンダード
 - ▶ 米国、欧州でShibbolethによる学術認証フェデレーションが拡大



SAML通信のためのフィルタのようなもの



学認への参加方法

- ▶ **学認申請システム**によるオンライン受付
 - ▶ 参加申請, メタデータ登録・更新等がWebを通してオンラインで可能

- ▶ **テストフェデレーション**
 1. 申請情報登録(およびアカウント作成)
 2. 事務局での参加承認
 3. フェデレーションメタデータの自動更新

通常一日で
参加完了
利用開始可能



学認が提供するテストSPやIDPを利用して接続確認

- ▶ **運用フェデレーションの場合は？**
 - ▶ オフラインによる確認、押印済み申請書の提出が1ステップ増えるだけ

実施要領, システム運用基準の遵守

Shibboleth環境の構築研修会

- ▶ 2012年度も実施予定
 - ▶ 大学向け3回、一般向け2回程度
 - ▶ 2012年度はクラウド環境を利用
 - ▶ NIIに加えて**出張研修**も検討中
 - ▶ 4月に模擬研修を予定
- ▶ カリキュラム
 - ▶ 1日目午前 : 概要説明
 - ▶ 1日目午後 : Shibboleth IdP導入実習
 - ▶ 2日目午前 : Shibboleth SP導入実習
 - ▶ 2日目午後 : 課題演習
- ▶ 日程等の詳細については、Webにてアナウンス致します



IdPホスティング実験

▶ 趣旨

- ▶ 学認に参加したいが、費用、体制、システム等の面で、準備に時間がかかっている機関の存在
- ▶ IdPホスティングによるスタートアップ支援
 - ▶ 需要調査
 - ▶ 技術的要件調査
 - ▶ 継続的なIdPホスティングサービスのありかた検討

▶ 方法

- ▶ NIIにてIdPホスティング用の環境を用意
 - ▶ ユーザ情報は、エクセル等での登録 / 大学のLDAPとの接続

▶ 問い合わせ先

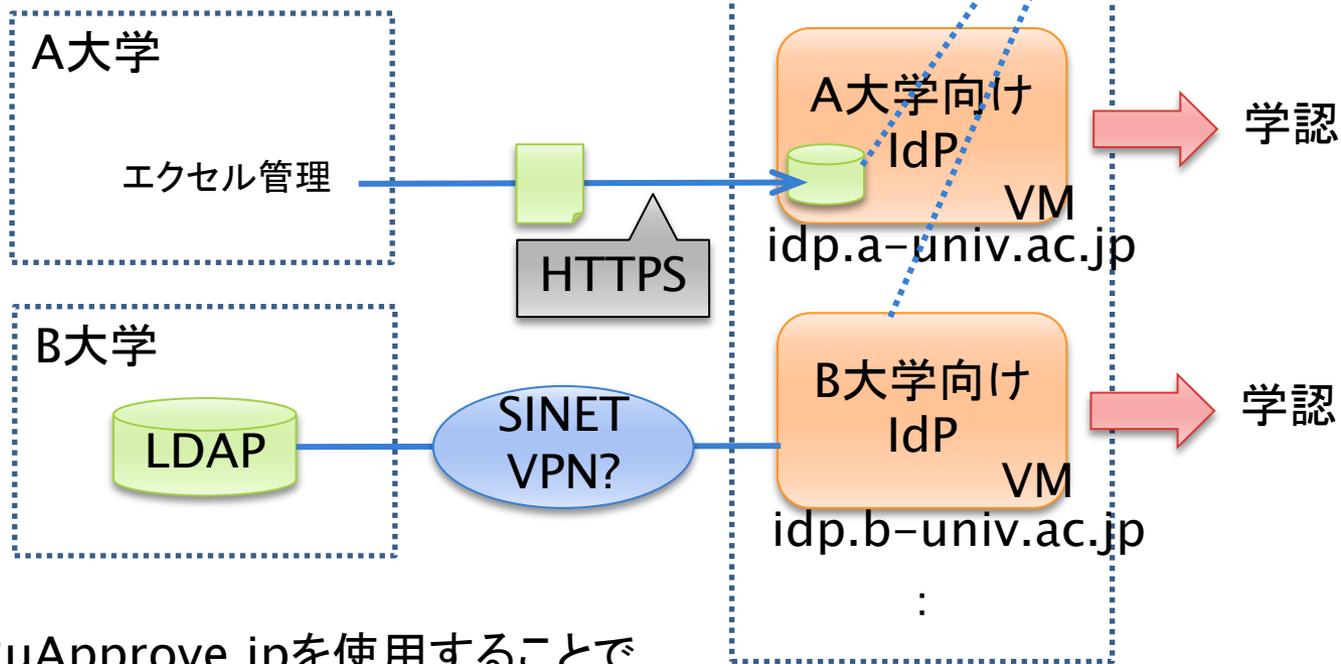
- ▶ idp-hosting@nii.ac.jp



IdPホスティングの基本仕様

- ▶ ユーザ情報の管理
 - エクセル等での登録
 - 大学のLDAPとの接続

オプションでeduroam用認証にも併用可



IdPではuApprove.jpを使用することで
個人情報保護法等に対応

NIIホスティングサーバ



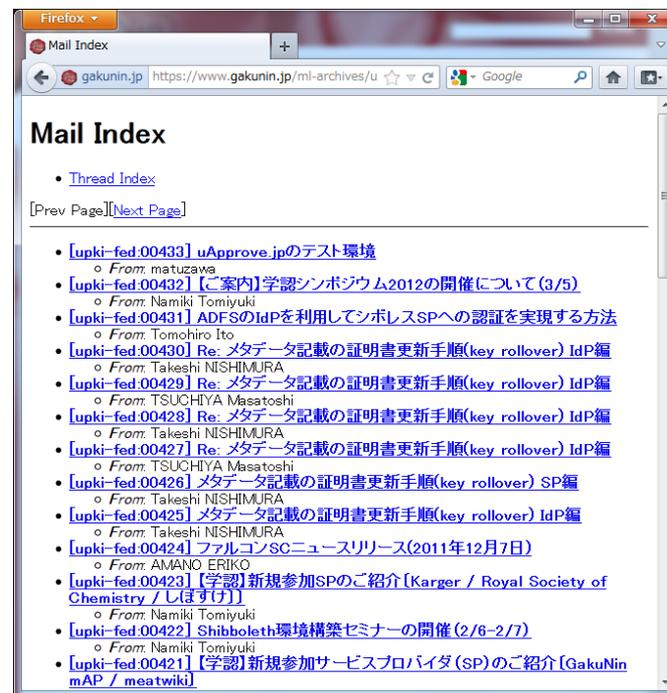
その他の取り組み

- ▶ **DS (Discovery Service) の可用性向上**
 - ▶ 3台目のサーバを増設予定(一ツ橋、千葉、関西)
- ▶ **Embedded DS (埋め込み型DS) の提供**
 - ▶ <https://www.gakunin.jp/docs/fed/technical/embeddedds>
- ▶ **IdP機関のためのユーザ同意機構(uApprove.jp)**
 - ▶ 個人情報保護法への対応
 - ▶ <https://www.gakunin.jp/docs/fed/uapprove-jp>
- ▶ **OpenIdP (特定組織に属さないIdP) の提供**
 - ▶ ac.jpドメインのメールアドレスを持つユーザであれば登録可能
 - ▶ 学認の一部のサービスが利用(体験)できます
 - ▶ <https://openidp.nii.ac.jp/>
- ▶ **グループ管理システム(GakuNin mAP)**
 - ▶ 組織をまたがったグループ情報の管理とSP間での共有
 - ▶ 対応SP: meatwiki (wiki)、meatmail (ML)、しぼすけ (予定調整)、等
 - ▶ <https://map.gakunin.nii.ac.jp/map/>
- ▶ **認証の保証レベル (Level of Assurance) への対応**
 - ▶ IdPとSPの信頼関係の向上による、より幅広いサービスへの接続に向けて



「学認」情報交換メーリングリスト

- ▶ 情報交換、問題解決のために気軽にご利用下さい
 - ▶ どなたでもご参加頂けます
 - ▶ アーカイブは、Webでも公開しています
- ▶ 詳細は：<https://www.gakunin.jp/docs/fed/ml>



サーバ証明書発行プロジェクト

重要なお知らせ

「UPKIオープンドメイン証明書自動発行検証プロジェクト」
は、現在の体制を継続し、**平成27年3月**まで、サーバ証明書
発行のサービスを**無償で継続**致します。



- ▶ 現在の活動状況
 - ▶ 参加機関数: 255
 - ▶ 発行枚数: 約5000

更なるご参加をお待ちしております！

- ▶ 問い合わせ先
 - ▶ NII 学術基盤課 連携基盤チーム
 - ▶ Tel: 03-4212-2218
 - ▶ Email: certj2@nii.ac.jp

